

会議名	第4回千郷地域協議会		公開
日時	令和5年7月19日(水) 午後7時00分～午後8時55分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 鈴木重好、今泉秀繁、中島敏和、熊谷則之、山本孝弘、瀧下一美 古市隆宣、杉木宏次、牧野勲、伊藤雅明、宮下利夫、渡邊省仁 小山明宏、竹下忠之、天野清孝、高柳友一、近藤武、今泉まり 羽佐田太一、竹下順、林義和、菅原次郎、藤田秀雄、山崎明美 鈴木八百子、鈴木ゆみ子、北尾志穂		
	(事務局及び市) 千郷自治振興事務所：今泉雅晴所長、宮本博之(正担当) 市民自治推進課：杉本晶子参事、森本陽子(副担当)		
欠席者	(委員) 原田祐子	傍聴者	0名
配布資料	次第 資料1 令和6年度地域自治区予算事業計画検討イメージ 資料2 千郷地域自治区予算事業計画策定に伴う検討を進めるにあたって 第1号議案 令和6年度千郷地域自治区予算事業計画策定方針案協議資料 第2号議案 令和6年度千郷地域自治区予算事業計画策定検討資料 (地域計画策定分科会(第1～3回)検討内容報告資料)		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会及び会長あいさつ

山本会長によるあいさつの後、本日の会議成立の報告を行った。

会議に先立ち会議録署名者を会長より「宮下利夫」委員、「渡邊省仁」委員の2名を指名し両委員ともに承諾がされたため、次第に従い説明に移った。

2 説明

- (1)地域自治区予算について
- (2)地域自治区予算事業計画の策定手順について

上記2件について、関連があるため一括して事務局より説明がなされ、このことに対する質疑応答に移ったが、特に委員からの質問や意見等も無かったため、次第に従い議事に移った。

3 議事

第1号議案 地域自治区予算事業計画の策定方針(案)について

事務局より下記のとおり原案の説明がなされ、協議に移った。

<上程原案>

千郷地域計画に基づき、令和6年度地域自治区予算事業計画の策定方針を以下のとおり定める。

(1)千郷地域協議会地域計画策定分科会を中心に、地域計画に沿った地域課題解決のための事業立案や提案等を進め、これを地域協議会にて協議検討を行う。

(2)地域協議会のみならず、千郷地域の各種団体等へのヒアリングや事業提案などを聴取し、収集した事業について地域協議会にてそれらを踏まえ協議検討を行う。

(想定団体)

- ①千郷地区区長会
- ②千郷地区防災連絡会
- ③千郷地域子育て連絡協議会
- ④地域の足の確保検討委員会
- ⑤ちさと郷土研究会

(3)千郷地域協議会地域計画推進アドバイザー会議の開催を要請し、アドバイザーからの意見や提案等を依頼。その後アドバイザーからの意見等を踏まえ地域協議会において協議検討を行う。

(4)必要に応じ千郷地区地域活動支援員へ派遣要請を行う。

以上

このことについて、質疑応答に移ったが質問や意見等もされなかったため採決に移った。

■決定事項

採決の結果、原案のとおり満場一致で承認とされた。

第2号議案 地域自治区予算事業計画の提案等について

事務局より配付資料の説明の後、5月10日(水)第1回の開催にはじまり、これまでに第3回まで開催された千郷地域協議会地域計画策定分科会での検討内容やその結果等について、分科会委員長である伊藤筆頭副会長より報告がされた。

以上の後、地域計画に基づき、千郷地域の課題解決のため次年度(令和6年度)地域自治区予算事業計画に盛り込むべき事業提案について、各委員から提案を求め協議に移った。

委員より提案等のされた主な内容は次のとおりであった。

<千郷地域における課題解決のために必要と考えられる主な提案内容>

①分科会からの報告にあった、耕作放棄地を分譲地として利用しIターンやUターンの受け入れ環境の仕組みづくりとするなど、自分の経験や知識上難しいのではと思うが、これが出来るのであれば千郷地域の耕作放棄地を用意するので是非実施して欲しい。

②区長の労働軽減の新たな仕組みを今後検討して行くべきではないか。

③河川堤防の草刈りなどの維持管理を地域住民によって現在は行っているが、防災の観点から重要なものだと感じている事から、こうした維持管理を近くの地域住民のみだけに負担が及ぶことに疑問を感じる。

④行政区によって地域住民の独居老人の状況や身体に不自由がある住民の正確な情報を把握し、防災対策や助け合いの仕組みに結び付けようと考えているものの、個人情報保護法に基づき、行政は簡単にはそうした情報を開示して貰えない。

もちろん、正式な手続きを行えば可能な範囲で開示して貰えるものの、行政手続きが負担となっている。そのような状況で地域住民同士、防災の面にしても助け合いなどできるとは思えない。

行政が責任を持ってそうした弱者のサポートを全面的に実施するから問題無いと考

えているとは思えないし、行政はこのような状況を課題として捉えているのか疑問である。

⑤防災資機材も過去整備したものが多く、今の時代は様々な新たな防災資機材が開発販売等されていること必要に応じ導入検討することとしても良いのではないか。特に千郷地域全体の各行政区に統一的に必要であると考えられるものについての予算化。

⑥Sバス（西部線）が、今年度より一部予約制で運行開始をしているが、県外の都市部では予約制の運行はされていないことから、予約制を導入したことは間違いではないか。また、バス停のベンチ設置においても都市部には設置されていない事も多いことから、必要か否かについては要検討すべきであると思う。

⑦遊休農地や休耕地を住宅地として土地利用する事については、良いアイデアであると思うが簡単な事では無い。

⑧新城に働き場所が無いから市外、県外への人が出て行ってしまおうと考えられる。

⑨防災資機材の導入について、平成13年度市より防災倉庫と各種資機材も貸与されているため、各行政区ごとに現状把握を再度徹底することが重要であると感じる。貸与された後、一度も活用することも無く保管されている資機材も多いと思うので、予算化を検討する前にこうしたことを先ずはすべきである。

⑩稲木地区の山林では勝手に進入し火を炊いている方も居ると聞く。山林の管理を徹底し注意喚起しないと、思わぬ被害が発生する危険性がある。

⑪稲木地区の山林での件についてはその後大きな問題は無かったが、その方の連絡先を一応は聞いている。

⑫財産区の山林を有効活用する提案については良い案だと思うが、野生鳥獣も多く生息していることから人が入るにはかなり注意しないとイケない。安全確保について慎重に協議をすべきであると思う。

⑬財産区の山林利用については発想は良いとは思っているものの、若者に魅力が本当にあるのか疑問である。魅力あるキャンプ場は全国各地に数多くあるため、よほど魅力が無いと運営出来ないのではないか。

⑭若者に魅力を伝えるには、働き場所があるというのが一番の魅力となり得ると思う。

⑮昔は同級生が150人位居た時代もあるが、現在、新城市全体の出生率が年間130人弱しかない状況であり、人口減少については千郷地域自治区だけの問題では無く、市全体の重要な課題となっている。

⑯NHK「どうする家康」の効果も期待していたものには到底及ばない状況である。

⑰新城から名古屋に高速バスを利用して行く事はあっても、名古屋から新城市に来訪する人は少ない。

⑱高速バスについては毎日藤が丘へ運行しているが、藤が丘で停車するより名古屋駅まで行く運行を検討してはどうか。利用者が増加する事が期待できる。

⑲先日の異常降雨の影響で地区内においても多大な被害が発生している。治山事業等積極的に施行するなど地域の安心安全に繋がる事業を実施してほしい。

⑳臼子地区では先日の異常降雨によって、農業課をはじめ森林課、土木課、さらに新城設楽建設事務所など関係機関に関する被害報告、復旧要望を30件近く提出したところである。今まで崩壊したことの無かった橋もこの前の異常降雨によって崩れてしまったほか、農道が水路状態となってしまう、掘れてひどい有様となってしまった。

㉑先日の異常降雨では市内全域でひどい状況となっていることは実際に様々な地域を運転しながら目で見ているが、本当に復旧が追いつくのか心配である。

以上

ある程度意見も出尽くしたところで、会長より次の決定事項とおりの説明がなされ、第2号議案についての協議は終了とされた。

■決定事項

本議案について、第1号議案で承認されたとおり、各種団体へのヒアリング等を行い、新たに課題として上げられた案件や提案、また意見を踏まえ分科会において再度検討し次回地域協議会において地域自治区予算事業計画の優先度の高い事業の順位付けなど協議する方針とした。

4 連絡事項

(1)第4回千郷地域協議会地域計画策定分科会の開催日程について

令和5年8月2日（水）19：00から西部公民館多目的ホールにて開催予定

(2)第5回千郷地域協議会の開催日程について

令和5年8月23日（水）19：00から西部公民館多目的ホールにて開催予定

以上の事について会長より連絡がされた。

5 閉会